

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2393000365
事業所名	グループホームつばさ今町

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	コロナ禍でも近隣地域の散歩を継続し、地域の方々との交流が途切れないように努めてきた。地域の中の社会資源としての認知度も上がり、気にかけてもらえる存在であることは言うまでもない。コロナの5類感染症移行後は、屋外開催の認知症カフェ参加等、できることから取り組んでいる。地域行事も再開があり、今後は再参加を考えて行く予定である。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	コロナの感染状況を見ながら、できる限り対面での会議開催に努め、この1年は6回全てを通常通り(対面)に実施している。会議は毎回テーマを決め、メンバーの参加型を工夫している。会議で災害訓練を実施し、消防署を呼んで避難訓練や研修を行う等、ホームからの情報発信の事例もある。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	市の担当部署とは、ホーム運営にかかわる相談・報告を通じ、適切に連携している。しの介護相談員の受け入れもある。地域包括支援センターが毎回運営推進会議に参加し、ホームの実情理解を進めている。包括主催の認知症カフェに参加する等、ホーム理解の上でのお誘いも多く、積極的に連携している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	コロナ禍では、特に利用者と家族の関係継続に配慮し、つながりを切らない工夫に努めた。つばさ便りを活用し、利用者の日常を報告し、細かな情報提供を行う等、家族が意見を出しやすい環境整備に努めている。面会時や電話連絡時に家族から直接聞き取った意見や提案、希望や意向は、職員周知で真摯に向き合い、対応している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

この1年は、6回全てを対面での会議で開催している。
---------------------------

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	3. 運営推進会議を活かした取組み (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							